各　位

2026 年 11 月 10 日

会　社　名　　日本電子材料株式会社
代　表　者　　代表取締役社長　坂田 輝久
（コード番号 6855 東証スタンダード市場）
問合せ先　　執行役員 管理部門統括部長 石本 浩久
電　　話　　０６（６４８２）２００７

2027 年３月期通期連結業績予想の修正及び剰余金の配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、2026 年８月７日に公表いたしました 2027 年３月期通期連結業績予想及び剰余金の配当予想を修正することといたしましたので、お知らせいたします。

記

１．2027 年３月期通期連結業績予想の修正

2027 年３月期通期連結業績予想数値の修正(2026 年４月１日～2027 年３月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	１株当たり当期純利益
前回発表予想（A）（2026 年８月７日公表）	百万円 36,400	百万円 9,450	百万円 9,300	百万円 6,700	円 銭 457.42
今回修正予想（B）	39,400	12,100	12,000	8,200	559.58
増減額（B－A）	3,000	2,650	2,700	1,500	
増減率（%）	8.2	28.0	29.0	22.4	
（ご参考）前期実績（2026 年３月期）	29,366	7,249	7,177	5,451	425.98

修正の理由

当期における業績につきましては、生成ＡＩ向けを中心とする先端半導体の需要拡大に伴い、先端メモリー向けプローブカードの需要が旺盛に推移いたしました。特に、高付加価値製品の販売が力強く伸長したことに加え、国内工場の高稼働継続及び生産性の向上等により、第２四半期（中間期）の実績が売上高・利益ともに前回公表予想を上回る結果となりました。

下期の見通しにつきましては、旺盛な需要を背景に引き続き国内工場の高水準な稼働を維持する見通しであるなか、海外子会社との決算期の差異による売上計上時期の期ずれ影響等を考慮したほか、想定為替レートの見直しや、将来の成長に向けた先行費用等を適切に織り込みました。

これらの要因を総合的に勘案した結果、通期連結業績予想数値を上記のとおり修正いたします。

（注）上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

２．剰余金の配当予想の修正

	年間配当金（円）		
	第２四半期末	期末	年間
前回予想（2026 年８月７日）	60 円	40 円	100 円
今回修正予想	60 円	60 円	120 円
当期実績	60 円	―	―
（ご参考）前期実績（2026 年３月期）	30 円	50 円	80 円

修正の理由

当社は、株主の皆様に対する「安定的な利益還元」を重要な経営方針の一つとしています。2024-2026 年度中期経営計画においては、設備投資と研究開発を中心に「将来に向けた成長投資」とのバランスを取りながら、株主の皆様へ安定的・継続的かつ利益に見合った配当を実施する方針です。

当期の期末配当予想につきましては、上記のとおり通期業績予想が過去最高益を更新する見通しとなったことを踏まえ、株主の皆様の日頃のご支援に報いるため、期末配当予想を前回予想の 40 円から 20 円増額の 60 円に修正いたします。これにより、第２四半期末配当（60 円）と合わせた年間配当金予想は、前回予想の 100 円から 20 円増額の１株当たり 120 円となります。

（注）上記の配当予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の配当額は今後の様々な要因によって予想数値とは異なる場合があります。

以　上